

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム元気村
(ユニット名)	元気村Ⅱ
所在地 (県・市町村名)	愛知県 半田市
記入者名 (管理者)	中村宗子
記入日	平成 20年 9 月 30日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	<p>・毎月一回のミーティングを行っているが、その時間を使って、研修のようなこともして欲しい</p> <p>・なかなかお一人おひとりにゆったり過ごして接する時間が持ていないため少しでも会話の時間を持てるようにしている</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	○	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	<p>・出来ることなら地域の行事や活動に参加していくようにしたい</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・現状では、特に取り組んでいない ・出来ていない	○	・近くに大型スーパーがあるためなるべく買い物など利用者様と共に利用している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・評価から充分でないところ、改善する必要があるところを共通理解しよりよいサービスへとつないでいこうとしている ・職員は半年に一度自己評価をし過去の半年を振り返り反省し、向上するように努めている		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・定期的に会議を持ち取り組んでいる ・定期的な家族会を開催して、運営推進会議も合同に行いサービス向上を話し合っている ・ミーティング等を通し職員へ伝達また、利用者様のご家族等へは家族会等で伝えている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・必要に応じて連携が取れている ・取り組んでいると思う		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・必要に応じて制度の利用をしている ・機会はあるかもしれないが出来ていない		・もう少し勉強会や関係者と話す機会を持ちたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・職員間で報告、連絡、相談をすることで問題がおきるようなことがあれば早めの対処を心掛けている ・利用者様の身体の変化や言葉かけなど注意を職員が気をつけている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な説明が行われていると思う。</li> <li>入所時は職員が読み上げて十分な説明をして理解、納得していただいている。</li> </ul>	<p>○</p> <p>入所後も来所時にご家族に接しているいろいろお話を伺いながらコミュニケーションを図っている。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様の意見などに常に耳を傾けよりよい対処の方法を探るように努力している</li> <li>日々職員が利用者様とのコミュニケーションを図るように接したり、ご家族からの声を聞くようにしている</li> <li>利用者様やご家族よりご意見ご要望があれば、責任者が対応している</li> </ul>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じてはその都度、電話連絡をしたり、家族会の機会を設け、直接話し合いの場を定期的に持っている。家族の来所の折には、近況報告なども行き様子をお伝えしている</li> <li>面会に見えたご家族には、日々の様子をお伝えしている。</li> <li>定期的な家族会の実施及び日々何かあったり定期的な連</li> </ul>	<p>○</p> <p>もう少し時間をとってもっと密に利用者様の事を話し合えたら</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族等の意見を大切にしながらよりよい運営を目指している</li> <li>家族会での個々のお声を聞いたり、来所時は必ずお話を聞くようにしている</li> </ul>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティング、申し送り他などの機械を通して意見を伝える機会あり、徐々に反映されている</li> </ul>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな勤務形態をとり入れ必要な職員数を確保できるよう努力している</li> <li>勤務体制を家族の要望などによって調整している</li> </ul>	<p>○</p> <p>・当日、体調不良な時等もう少しお休みを取りやすい状態にしてほしい</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の異動により利用者様に及ぼす影響の大きいことは皆理解しており、安定したサービスが続けられるように考えている</li> <li>なるべく異動や離職がないよう職員の希望を聞いてもらうようにしている</li> </ul>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・新人育成に関しては、カリキュラムに添って実践し、チェックを自身で行ってもらい、理解できたかどうか確かめながら行っている。研修の機会は、少ないがあれば希望者は参加している ・職員はその経験などから育成を図るため一つひとつ時間を掛けながら教えて確実に理解実施できるようにしている	○ ・研修への参加 ・法人内外の研修など職員が取りやすいようにしてほしい ・もう少し時間を掛けながら、職員を育てるようにしていきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・特に思い当たる取り組みがない ・いろいろな研修や勉強会などに出席して交流する機会を持つようにしている	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・人員の配置については意見を聞いてもらえる環境にあるが、ストレスはそれぞれが意見交換をしたりして対処している ・職員や責任者と直接話す機会がなく、職員の意見は通らないと思う ・職員の声をなるべく聞いて出来ることは工夫している	・三ヶ月に一度程度個人面談が責任者とあるが、あまり話せないのが実情
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・それぞれの思いを伝える機会はあるし、勤務状況の把握はされていると思う ・半年に一度自己評価を提出しているが、どう反映されているかはわからない ・研修会や講習会になるべく参加する機会を作っている	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ケアマネジャーを含め責任者との間でなされているはずであると思う ・その都度相談は受けている 出来るだけ希望に添えるよう努力している ・常にお声を掛けてお話を伺いながら行っていくようにしている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ケアマネジャーを含め責任者との間でなされているはずであると思う ・アセスメントをしっかり行いながら、ご家族等のお話をより詳しく聞いている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーを含め責任者との間でなされているはずであると思う</li> <li>・何を望まれているか希望をお聞きし、それに添うように対応している</li> </ul>		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様によって慣れるまで、お試しの期間を設けたりして柔軟な対応を行っている</li> <li>・その方に合わせた介護、サービスを行っている</li> <li>・入所時どのような方なのかご家族よりお聞きし、生活パターンや性格を理解しながらサービスを行っている</li> </ul>	○	・家族会を定期的に行っている
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様から学ぶことも多く、一緒に生活する家族であると思うようにしている</li> <li>・日々の生活の中でご本人が自立されているところは、ご本人がやっていただき、また職員の足りない部分は手伝っていただきながら行っている。</li> <li>・いろいろお手伝いしていただいたり、職員から反対に相談</li> </ul>		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の様子や抱えている問題に立ち入り過ぎない程度に聞かせていただき一緒にどうすればご本人にとって一番良いか話し合っていく</li> <li>・必要な援助は何かを共に探りながら、より良い介護の提供と充実した毎日を過ごせるような環境作りに努力している</li> </ul>		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している</li> <li>・ご家族と利用者様本人との関係の理解に努めている</li> <li>・なるべくご家族に来所していただけるようにしている</li> </ul>		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る範囲で</li> <li>・来所される方々に対しては、また機会があれば、訪れていただきたいことは伝えてはいるが、特に積極的に支援しているとは思わない</li> <li>・お友達やご家族の方が来所されやすい雰囲気を持つようにしている</li> </ul>		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく多くの利用者様と共感出来る話題づくりや雰囲気作りをする</li> <li>・職員間でも利用者様の様子は、常に申し送られており、より良い交流が図られるよう心配りをしている</li> <li>・なるべく利用者様同士コミュニケーションを図れるように座る席など工夫している</li> </ul>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院されたり、他の施設に行かれた方でも近くに行ったら寄らせて頂きお顔を見せて頂いたりしている。</li> <li>・必要があれば、なされているのだと思うがよくわからない</li> </ul>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ本人本位でありたいが、職員の都合に合わせてしまうこともある</li> <li>・ケアプランの作成、マンスリーによる見直しなど定期的に行い、職員、家族間で話し合っている。 本人のためにとすることはもちろん。 なるべく利用者様一人ひとりのお声を聞いて希望を聞いていくようにしている</li> </ul>		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族やご本人と話をさせていただき、なるべく把握するようにしている</li> <li>・ケアプラン作成前に本人やご家族からの聞き取りを常に行っている</li> <li>・入所時によくお聞きし、生活パターンを崩さないようにしている</li> </ul>		・回想法などを利用し利用者様に聞いていく
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりについて日々把握し、その様子を次の勤務者へと申し送りをし、情報の共有している</li> <li>・出来るだけ一人ひとりのペースに合わせている</li> <li>・個人のカルテに記入している</li> <li>・毎朝、バイタルチェックや入浴時身体を見ることなど状態に注意している</li> </ul>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三ヶ月に一度のケアプラン見直し、マンスリーの作成を行っている ご家族にも目を通していただき意見をもらっている。 また、職員間でもミーティング等で話し合っている</li> <li>・ミーティング時間中にケアプランを見直し介護計画を作成している</li> </ul>		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護計画の変更、見直しは必要に応じて行っている</li> <li>・毎月のマンスリーにより一ヶ月の様子から見直しが必要かどうか把握できるようにしている。 必要なら計画の見直しを行う。</li> </ul>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個人ファイルへの日々の様子の書き込みを行い情報の共有をしている。 ・変わった様子や体調が悪いときは個々の特変記事を書いている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・リハビリ、シニアフィットネスへの参加も可能		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・回数は多くないが、不定期のボランティアの来所あり。消防による避難訓練の実施など行われていると思う		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・必要があれば、なされていると思うがよくわからない		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・必要な場合には、協働してあっている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・二週間に一度往診対応している また、一階が整形外科なので必要に応じて受診している		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・往診医師により実施している		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・その都度相談できる看護師がいるので少しの変化も相談し、指示を受けている ・往診時に同じ看護師が立ち会っているため利用者様への理解も深く、必要などときには電話で連絡、指示を仰いだり見に来てもらえたりする。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・出来ている ・ご家族を通して入院中の様子を伺うことがあったり、職員が時々様子を見に行ったりしていることもある。退院の際には、病院から電話が入ったり、サマリーによりその後のケアに必要なことが伝えられたりする。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・ご家族からはアンケートを取り、お一人ずつどうありたいかをきちんとお尋ねしている ・終末期のあり方について年に一度くらいの割合でご家族に意向を確認し、書面に残すようにしている		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・終末期において施設で出来ること、出来ないことは、文書にしてご家族へも伝えている		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・努めていると思う ・入所時、今までの生活状況をよくお聞きし、なるべく不安のないように心掛けている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・個人情報の取扱いについては、行えているが、言葉掛けや対応は、馴れ合いになっている部分もある ・言葉掛けや対応については、改善、見直し、反省の余地がある	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・なるべく利用者様本位でありたいと思うが、環境や時間などの制限により無理なときもある	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・出来る範囲で行っている ・自分のペースで暮らせている方も居るが、いろいろな理由で、日中、自室で過ごせない方々大半であることは、利用者様本位ではないと思う	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・一～二ヶ月に一度資格を持った職員が利用者様と話し合いながらカットさせていただいている ・自分で毎日着る服を選んでいる方は、一部。本人希望で行きつけの店へ出掛ける方も見えるが、ほとんどの方は、施設内で美容師の免許を持っている職員がカットしている	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・準備は職員がやることが多いが、片付けは一緒にやっていただいている。 ・食事は三色ともに厨房から持ってきて、ほとんど職員の手による配膳が行われている。片付けは、食器拭きなど限られた方たちによりお手伝いいただいている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・糖尿病等ない方に関しては、ある程度されている ・自分で職員と買いに行ったり、職員に依頼して好きなものを購入している人は一部、今はお茶の時間に好きな飲み物を選んでいただいているくらい	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの排泄パターンに合わせてトイレ誘導している。日中は出来るだけ布パンツで過ごしていただけるよう心掛けている</li> <li>定期時、随時のトイレの声掛け、誘導、見守りを行っている。排泄表を活用し、排泄パターンを把握するようにしている。オムツの使用については職員が皆で見直している</li> </ul>		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>二日に一度程度の入浴となっているが、便失禁やご本人の希望あれば関係なく入浴していただいている。</li> <li>一日おき人によっては、曜日を決めた入浴を心掛けている。その時の身体状況に応じて必要なら入浴を行っている。一人ひとりの希望に充分合わせることは、出来ないかもしれない</li> </ul>	○	・その方が希望する時間帯に入浴して頂けるようにしていきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>その日のご本人の様子や訴えあれば休んでいただくようにしている</li> <li>日中、休憩の必要な方には、出来るだけ環境を整えるようにしているが、日中自室の利用が限られる状態なので十分ではない</li> <li>一人ひとりの利用者様に応じて就寝時間に応じている</li> </ul>		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な生活の中で、自分の出来る役割をしていただいている方は何人か見える。一人ひとりの楽しみごとへの支援はまだ充分ではないと思う</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーションの充実</li> <li>生活レクリエーションの工夫</li> </ul>
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご本人が管理できる方は、ご自分で管理していただき、お買い物等も職員と一緒にしてもらっている。</li> </ul>		・なかなか一人ひとりの買い物に出掛けたりは出来ていないので、機会を増やしていきたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的には、隣のユニーへ買い物に職員等数名で出掛けることくらいしか出来ていない</li> <li>スペシャルDAYなどご本人が行きたい場所に希望に応じて出掛けられるようにしている</li> </ul>	○	・外出の機会がもう少し多くもてたらいい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年かから年に一度ずつ、スペシャルDAYとして本人の希望をかなえる日を設けている</li> <li>スペシャルDAYとしてその人の希望を叶えて行きたい場所に行ける様になっている 家族と共にいける機会も作っている</li> </ul>	○	・年に一度といわず、出来たらいい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・希望があれば、電話をさせていただいている ・電話は希望があれば、いつでも掛けれるようにしている 手紙も同様である		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・ご家族、知人の方など時折おいでいただいている。必要に応じて様子をお知らせしたりしている ・いつでも訪問していただけるように笑顔で声をおかけして、お茶をお出しするようにしている		・気軽に立ち寄っていただけると良い
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・取り組んでいると思う ・身体拘束やベッド柵などはしないようにしている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・現状から見て利用者様を守るために必要な場合、家族や本人の了解を得て施錠している		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・配慮している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・職員間で常に話し合い、環境整備に心掛けている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・取り組んでいる ・一人ひとりの状態に応じて、必要な声掛け、見守り援助を心掛けている ・その日の体調に応じた介護や誤薬のないようチェックをしている ・事故報告書を提出し、二度同じ事故がおきないようにしている。	○	事故報告書などのまとめや予防を職員同士話し合う

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている</li> <li>・希望者は市の救急法の講習会に参加している</li> <li>・年に何回かの防災訓練をしたり、急変時に応じてマニュアルを作成している</li> </ul>		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内では緊急時のマニュアルが出来ている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施して、諸君がとっさの行動が出来るようにしていきたい</li> </ul>
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の状態により生じるリスクについては、その都度、家族に説明し、理解を得るようにしている</li> <li>・家族会を三ヶ月に一度行い説明している</li> </ul>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日勤者から夜勤者へ 夜勤者から日勤者へ一人ずつの状況を申し送っている</li> <li>・努力している</li> <li>・朝夕申し送りをし、また日誌や連絡ノートなどで報連相をしっかりと取るようにする</li> </ul>		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解に努め、症状にあった服薬の支援が出来るように常に職員間で確認、申し送りをしている</li> <li>・薬の変化や副作用、用法などを何のためか理解する様にしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に飲んでいる薬など勉強会など開いてほしい</li> </ul>
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬による排便調整と共に運動への声掛けや牛乳などの飲み物十分な水分補給に心掛けている</li> <li>・便秘など排便のリズムや日数を確認し、それにより便秘薬を調整している</li> </ul>		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後の口腔ケア、週に一度の義歯洗浄をしている</li> <li>・一人ひとりに合った支援を毎食後行っている</li> </ul>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事チェックは個々にしている</li> <li>・一人ひとりに合わせた配膳をしている また、どうしても召し上がれない方は介助したり、全く食べれない場合は、栄養剤等で補給している</li> <li>・食事、必要に応じて水分チェックを行っている</li> <li>・栄養士が作成した料理を作っている。 また、水分量</li> </ul>		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルがあり発生したら実行している</li> <li>・充分周知されていないと思うし、しっかり実行されているとは思わない</li> <li>・インフルエンザなど予防接種などはやめの対応をしている</li> </ul>		・知識を共有し、予防に努めたい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賞味期限に気をつけ、定期的な食器の消毒を行っている</li> </ul>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通りの裏側に入り口があるため、人目には付きにくいと思う。 親しみやすい工夫は今はされていない</li> <li>・展示物や花、大きな看板を飾って親しみやすい玄関になるようにしている</li> </ul>		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた空間をなるべく工夫して、使いやすいものに出るようにしている。 一年の移り変わりが感じられるようお部屋の飾り付けなどしている</li> </ul>	○	・居心地のいい楽しみのある空間作りを工夫していきたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下やリビングに畳屋ソファの空間を用意し、必要な自由にそこで腰を下ろして談話できるようになっている</li> <li>・リビングには、利用者様の手作りの展示物や絵などを飾ったり季節感を感じられるようにしている</li> </ul>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・それぞれの様子や希望により家具の配置を整えながら使いやすい工夫をしている。 希望があれば、使い慣れたものを持ち込んで使用していただいている ・各利用者が居心地のいいように写真や親しみのものなどをおいている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・建物の構造上、トイレのにおいがこもりやすい 短期や消臭に努めている 日中、リビングなどの採光換機に勤めている ・定期的に窓の開閉をし、空気の入替えをしている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・移動に車椅子、バギーなど使用する方も多いため安全に動ける空間作りに常に配慮している手すりも一部設置あり ・一人ひとりに応じてなるべく身体機能の低下を防ぐように介助するようにしている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・自分の居場所として、座席を固定し、必要に応じて座布団等も使用、居室の入り口には、写真や名前の掲示がしてあり、わかりやすいようにしている ・ご自分で出来ることをなるべくしていただき、またお手伝いなどをさせていただくようにしている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・建物の外やベランダに利用者様が出ることは無理 ・活用できていないし、活用しやすい状況にない		

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者の
	<input checked="" type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="checkbox"/>	①毎日ある
	<input checked="" type="checkbox"/>	②数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/>	③たまにある
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input checked="" type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input checked="" type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input checked="" type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族と
	<input type="checkbox"/>	②家族の2/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	③家族の1/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

現在の場所へ移転以降、アセスメントやケアプランの策定・評価には、十分に力をいれている。アセスメントでは、センター方式を用いアセスメントチーム（4名）からあらゆる角度で利用者様の立場に立ったプランを作れるようにしており、評価では一ヶ月毎に定期的に取り組み、柔軟な対応ができるようにしている。ご家族との交流においては、3ヶ月に一度家族懇談会を開き、職員とご家族の交流を経て、現在では、ご家族同士の交流へと転換しているところである。基本的な介護面としては、3大介護を重点的に行っている。排泄では、2時間毎の誘導や1時間毎の誘導など 入浴では、1日おきの人から毎日の人と、食事は、食事形態も柔軟に対応できるなど 一人ひとりの利用者様に合った方法で 個別的に取り組んでいる。工業地帯という立地条件ではあるが、隣のショッピングセンターを活かし、散歩しつつ買い物に出掛けられる特色も出せている。その人らしい生活をしていただけるよう、その人のペースを大切にし、理解して思いを共有できる羽陽に行動をなるべく束縛せず、自由に過ごしてもらえよう日々職員同士、上司と話し合いながら取り組んでいる。